

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取り組み 家族参加がほとんどない。	家族が参加し、意見交換が出来る。	家族の参加が見込まれる日程の調整。お誕生会等、行事を盛り込み家族の参加がしやすい会議とする。	12か月
2	24	○これまでの暮らしの把握 センター方式を利用しているが、本人への気づきがマンネリ化し、変化が見られない。	生活歴や現況を詳しく記入し、介護支援に活かす。	ひもときシートを活用し、新たな気づきができるよう取り組む。(4月から勉強会を開催。理解を深める。)	12か月
3	35	○災害対策 新施設において、新しく近隣の協力委員を募る必要がある。	地域の消防団等に協力要請出来るようにしたい。	町内会会長や地域参加の運営推進委員、民生委員等を通じ、協力して頂ける方を募集。避難訓練等に参加して頂き、グループホームの利用者の状況や避難誘導事項について理解し、協力していただく。	12か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。